

step



3歳児神話の謎

何が問題？

いっしょに考えよう。

～泉南市民人権意識調査から～

ジェンダーギャップ指数
125位の日本

被害者にも落ち度があると思う風潮

二次被害



泉南市



次のことがらについて、あなたの考えはどれに当てはまりますか？



問題があると思う

どちらかといえば問題があると思う

どちらかといえば問題はないと思う

問題はないと思う

わからない

泉南市民人権意識調査の結果は裏面で紹介しています。

■地域団体の役員や職場の管理職の女性割合が低いこと

■仕事の採用、賃金、昇進などに男女で格差があること

■痴漢の被害者に「あなたにも問題があったのではないか」と言うこと

■子どもが3歳くらいまでは母親の手で育てるべきだと考えること

1	2	3	4	5
1	2	3	4	5
1	2	3	4	5
1	2	3	4	5

上の4つのことからは、社会における男女平等をさまたげることにつながっています。
何が問題かを一緒に考えてみましょう。

①何が問題？

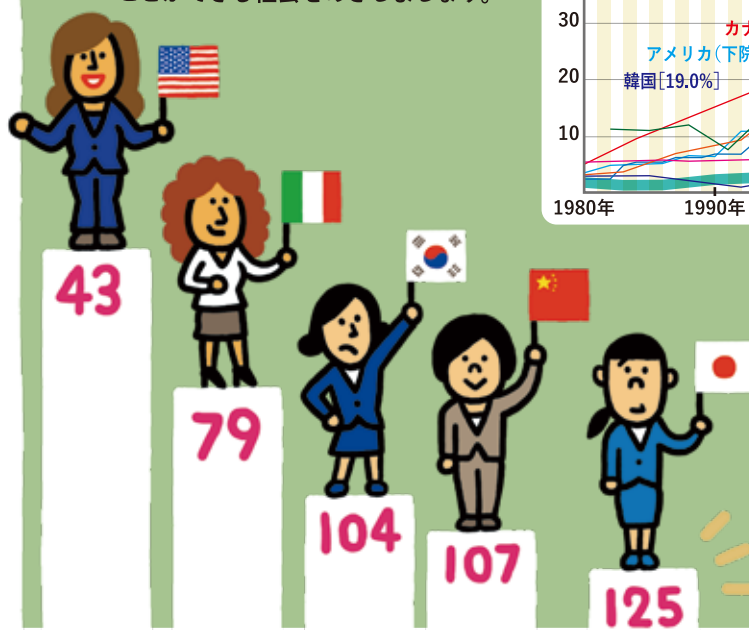
- 地域団体の役員や職場の管理職の女性割合が低いこと
- 仕事の採用、賃金、昇進などに男女で格差があること

ジェンダーギャップ指数125位 女性活躍後進国の日本

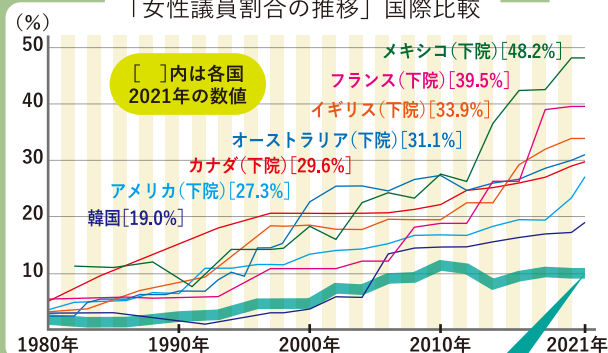


世界では、政治分野への女性参画のために男女の比率を割り当てるクオータ制を取り入れている国と地域は約60%にのびります。例えば、フランスでは、下院議員選挙の候補者が男女同数でない場合、政党に罰金が科されるなどの取組の結果、下院議員の女性割合は40%近くになっています。

政治や地域、職場などあらゆる場面で、男女が対等に意見を出し合っ、ともに責任を担い、成果を分かち合うことができる社会をめざしましょう。



「女性議員割合の推移」国際比較



日本
(衆議院)
[9.9%]

※ジェンダーギャップ・レポート2023、
諸外国における政治分野の
男女共同参画のための取組
(内閣府男女共同参画局)

②何が問題？

■痴漢の被害者に

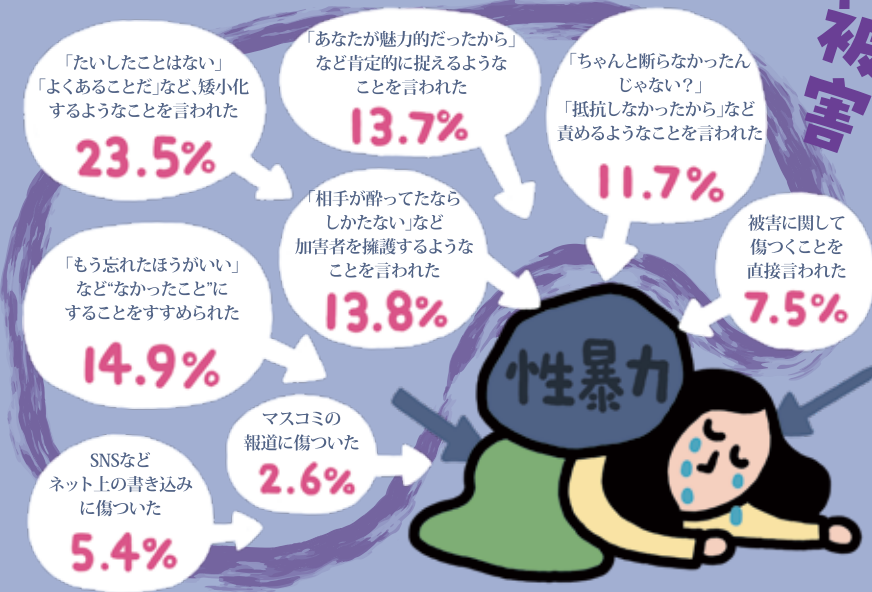
「あなたにも問題があったのではないか」と言うこと

被害者にも落ち度があると思う風潮

痴漢は明らかな犯罪行為であるにもかかわらず、被害を言い出せない人が多い実態があります。被害者は驚きや恐怖と恥ずかしさから声をあげることができないことは多く、被害が潜在化しがちです。さらに、誰かに相談したくても「あなたにもスキがあったのでは」などと言われると二重に傷つき、相談できなくなってしまいます。

NHKが行った“性暴力”実態調査アンケートによると、回答を寄せた人のうち女性は9割以上を占めています。そして、被害を打ち明けた相手から言われたことに傷ついた人が大半を占めています。

被害を受けた相手にかける言葉が二次被害をもたらさないか、だれもが考える必要があります。



※NHK“性暴力”実態調査アンケート 実施期間:2022年3月11日(金)~4月30日(土) 対象者:性暴力被害に遭った人、その家族など 調査方法:視聴者から意見を受け付ける「NHKフォーム」によるアンケート 有効回答数:38,383件

③何が問題？

■子どもが3歳くらいまでは母親の手で育てるべきだと考えること

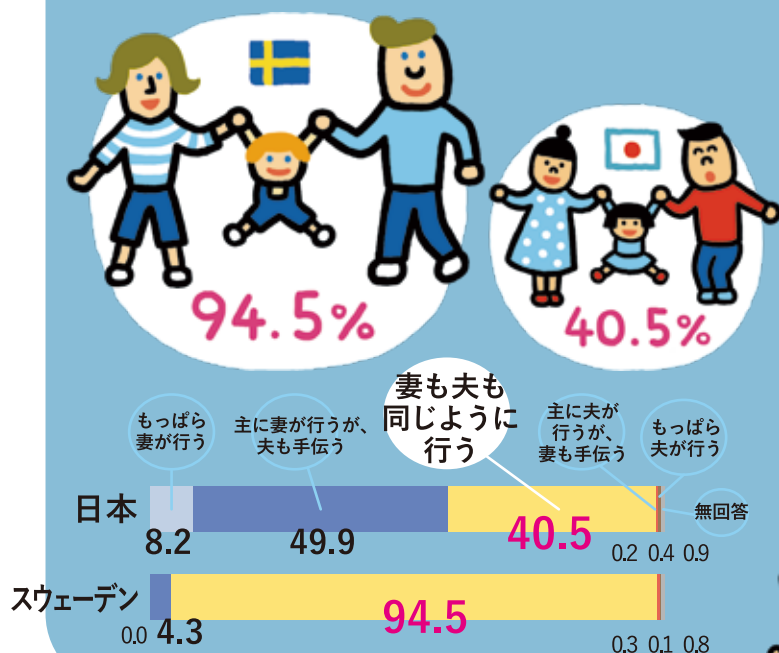
3歳児神話の謎

「3歳児神話」は、イギリスの精神科医が、子どもは3歳までに少なくとも一人の養育者との愛着関係が必要と唱えたことが、養育者＝母親と結びついて生まれたと言われていました。乳幼児期には、信頼できる大人による温かな養育環境が必要なことは言うまでもありませんが、その大人が必ずしも母親である必要はありません。

就学前の子供の育児における夫・妻の役割についての考えを外国と比較すると、日本では、「妻も夫も同じように行う」の割合が大幅に低くなっています。こうした意識が「3歳児神話」が根強い背景だと考えられます。

「子育ては母親がして当然」とする意識は、働く母親にとっては仕事と子育ての両立の負担感を、家庭で子育てに専念する母親には、良い母親でなければならないといったプレッシャーをもたらすなど、女性にとっての大きなストレスになっている現実があります。

子どもが健やかに育つ環境は、母親だけでなく父親や祖父母、保育所・幼稚園の先生、地域の人など多くの人々によってつくっていく必要があります。



「就学前の子どもの世話における夫・妻の役割」国際比較

※令和2年度少子化社会に関する国際意識調査報告書(内閣府)



泉南市では、様々な人権問題に関する市民の意識等を把握するために、令和4年度にアンケート調査を実施しました。結果の一部を紹介します。

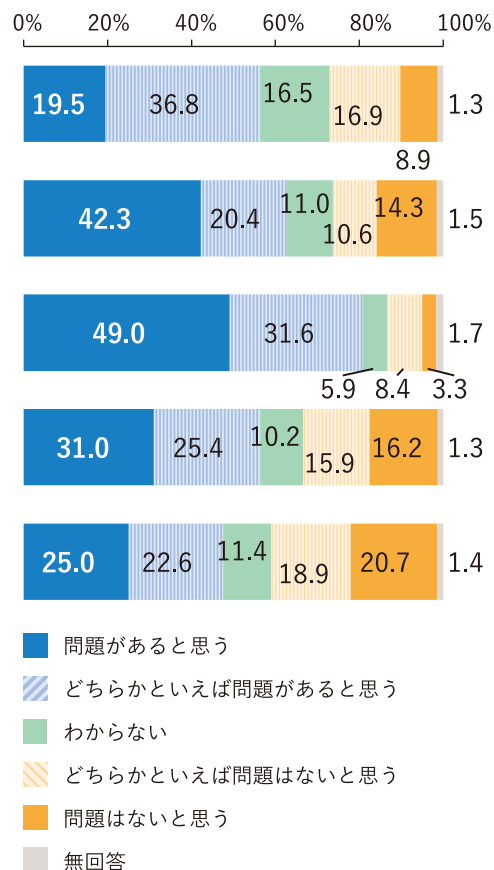
女性の人権上問題があると思うこと

「(3)仕事の採用、賃金、昇進などに男女で格差があること」では、約8割が、問題があると回答していますが、その他の項目では約5割から6割となっています。
「(5)子どもが3歳くらいまでは母親の手で育てるべきだ考えること」では、約4割が、問題がないと回答しています。



※泉南市くらしやすいまちづくりに関するアンケート調査の詳細は市公式ウェブサイトからご覧いただけます。

- (n=975)
- (1) 地域団体の役員や職場の管理職の女性割合が低いこと
 - (2) 痴漢の被害者に「あなたにも問題があったのではないか」と言うこと
 - (3) 仕事の採用、賃金、昇進などに男女で格差があること
 - (4) 「女性は相撲の土俵に上がれない」「女人禁制」など女性であることを理由に排除されること
 - (5) 子どもが3歳くらいまでは母親の手で育てるべきだ考えること



相談窓口

ひとりで悩まず相談してください。秘密は守られます。

●女性相談

女性カウンセラーがあなたの立場にたってサポートします。

せんなん男女平等参画ルーム相談室

第1金曜日／13:00～17:00、第2火曜日／16:00～20:00、第4金曜日／10:00～13:00、14:00～15:00
※要電話予約。都合の良い日を申し込んでください。

TEL 072-480-2855(人権推進課)

●女性のための電話相談

女性相談員が電話でお聴きいたします。

せんなん男女平等参画ルーム相談室

毎週木曜日(祝日と第5木曜日をのぞく) 10:00～12:00、13:00～15:00
TEL 072-482-0590

●人権相談

日常生活で起こりうる人権問題の解決に向けた手助けをします。

市民交流センター

月曜日～土曜日(祝日除く、土曜日は要予約)／9:00～17:30
(一社)泉南市人権協会
TEL 072-485-1401